

trivia ■皮膚科のトリビア■ (151)

本欄は、浅井皮膚科クリニックのホームページに連載されている「皮膚科のトリビア」を紹介させていただくものです。学会・研究会などで聞きししたことをその都度まとめ、連載されています。ご意見等ございましたら、ぜひ小誌「声」欄までお寄せください。

体圧を測って内圧を自動調整するマットレス

平塚市医師会講演会から(平成28年12月13日)

体圧を常時測定しながら最適な内圧に自動調整するマットレスを開発した。体圧分散を妨げない体圧センサと最適な内圧調整アルゴリズムを開発し、臨床で求められる機能を持ったロボテックマットレス“LEIOS(molten)”が完成した。搭載された機能は、①自動体圧調整、②自動背抜き、③睡眠状態モニタリング、④体位変換支援、⑤体動モニタリング。

「産学協同で10年がかりだったそうだが、熱意があれば実現するということ。皮膚科ももっと理工学の専門家と一緒にできることがないか検討すれば、新しい領域に一步踏み出すことができるような気がしているのだが」。

鼻炎の鑑別疾患とold man's drop

神奈川アレルギーセミナーから(平成28年12月15日)

アレルギー性鼻炎と鑑別が必要な疾患がある。old man's dropは温かいものを鼻から吸引すると鼻漏が生じるもので、冬季に多く、鼻粘膜を温めておけば改善するため長期の抗ヒスタミン薬は必要がない。local allergic rhinitis(LAR)は局所に限局するア

レルギー性鼻炎で特異的IgE抗体は陰性。通常のアレルギー性鼻炎になる可能性はあるが、一時的な血管運動性鼻炎として収束することもあるので、長期のフォローアップが必要になる。

「old man's dropとは粹な症状名だと思った。確かにアレルギー性鼻炎だと思っている患者がありそうなので、鼻粘膜を温めるという指導をしてみよう」。

電撃傷の分類

第870回日本皮膚科学会東京地方会から(平成28年12月17日)

電撃傷は電流が組織を通過するために生じる損傷で、①通過する際に生じた熱により血管や神経、筋肉が損傷されるtrue electric injury、②電源に近接しアーク放電がおこり、そのスパーク熱によりおきる損傷であるarc burn、③アーク放電やスパークの際に衣服などに引火炎上することで生じる熱傷であるflame burnの3つに分類される。電流が心臓を通過する際に生じる心室細動による心停止、筋や軟部組織の損傷で生じたミオグロビンによる急性腎不全、中枢神経に通電した際の呼吸筋麻痺など、急を要する合併症がある。

「日本では発電された電気が配電用変電所で6,600Vにまで下げられて電柱や地中線を通して配電され、最終的には変圧器で100, 200Vになって工場や一般家庭に配電されているが、この6,600Vの電線に触れておこる

トリビア (trivia) = 3を意味するtriと十道を意味するviaでもとは三叉路の意。古代ローマで三叉路が多かったことから「どこにもある場所」。そこから転じて「瑣末なこと」となり、今では雑学的知識、豆知識、などを意味する言葉として定着している。

浅井俊弥

Asai, Toshiya

浅井皮膚科クリニック

(〒240-0013 横浜市保土ヶ谷区帷子町1-14)

ホームページアドレス：

<http://www.asai-hifuka.com>

電気工事関連の事故がもっとも多いらしい。救急対応についてもたいへん勉強になった」。

胸郭出口症候群による 頸部の毛細血管拡張

第870回日本皮膚科学会東京地方会から(平成28年12月17日)

左外頸静脈の怒張とその周囲の丘疹状の毛細血管拡張が30年前から続いているという60歳代の女性。造影CTで外頸静脈の起始部に狭窄があり、胸郭出口症候群と診断した。胸郭出口症候群は一般的になで肩の中年女性に多く、肩を持ち上げる筋力の減少に起因し、前腕や手のしびれ、血行障害をきたす疾患であるが、血管拡張を主訴に皮膚科を受診することはまれである。

「長期間静脈の怒張が続くと、周囲に丘疹状の毛細血管拡張が生じるというところが面白い。それにしても怒張というのは不思議な用語だと以前から思っているのだが、誰が使い始めたのだろうか」。

足に合う革靴のチェック ポイント

第12回神奈川フットケア研究会から(平成29年1月12日)

パチェラー・オブ・シューフィッティングの講義で聞いた、革靴が足に合っているかのチェックポイント。①踵はぴったりか(2~3 mm)。②幅はきつくないか。締め付

けても伸びる革(ボール革)なら大丈夫。③つま先の捨てすは1 cm以上あるか。母趾が上下に動くか。④足の甲の締め付けがないか。⑤マーチラインが合っているか。⑥トゥプラインが合っているか。

「革靴の先端は型くずれを防ぐために芯が入っているので、足になじまないことが多いそうだ。革靴のチェックまでは仕事ではないが、コメディカルには知識として伝えておくことにする」。

年齢と発汗量の関係

第12回神奈川フットケア研究会から(平成29年1月12日)

ほ乳類としてのヒトは、体毛で覆われていないため発汗によって恒温性を保つのだが、発汗のピークは12歳で、それ以降は徐々に減っていく。発汗が減る部位には順番があり、まず下肢から始まり、体幹後面、体幹前面、上肢、頭と減っていく。熱帯にすむヒトは発汗量が少ないが、寒冷地に住むヒトより汗をかく時間が長いことが知られている。

「高齢になれば、乾皮症がまず下腿伸側に生じるという、きちんとした理論があったということ。なお、全身毛むくじらのイヌは汗をかかない代わりに、ハーハーと息を出して体温を下げています。多毛のヒトは発汗が少ないかどうか、ふと思った」。